被推薦者の実践・研究の題名（ゴチック体）

被推薦者氏名（ゴチック体）

Yamada Taro（明朝体）

推薦者氏名（ゴチック体）

Tani Kazuki（明朝体）

Ⅰ．推薦理由

　推薦書は「Ⅰ.推薦理由」と「Ⅱ.被推薦者の実践・研究の概要」から構成され、２〜４ページで記すものとする。

　被推薦者の実践・研究について、書籍や論文などの具体的成果物がある場合は、書名や論文名等を発行所・発行年度等をあわせて記載する。

Ⅱ．被推薦者の実践・研究の概要

書式は、応募論文テンプレートに準ずる。ここでは、主なものを以下に示す。

書式はＡ４判・縦置き・横書きとし、40字×40行の1段組とする。余白は、上下左右とも30ミリとする。

文字の大きさは原則10.5ポイントとする。見出しはゴチック体、本文は明朝体とする。

本文は、書き出しおよび改行後の書き出し部分を１字空ける。その他はすべて左端から書きはじめる。

はじめに被推薦者の実践・研究の題名、氏名とローマ字表記、次に１行あけて、推薦者氏名およびローマ字表記を記入する。姓の後と名の頭文字との間は半角のスペースを入れる。被推薦者の実践・研究の題名、被推薦者、推薦者は中央ぞろえにする。

　本文には、見出しをつけてもよい。見出しのフォントはゴチック体とする。

見出しの前は１行あける。図、写真の前後では１行あけてもよいが、本文の途中では行をあけない。

また、以下のように、文字や文を囲みで表すなどの装飾は用いない。

　このような装飾は用いない。

文章は、口語体の「…である」調とする。学術用語以外は常用漢字ならびに現代かなづかいを用いる。読点は「、」とし、句点は「。」を用いる。ただし、数式、英文などの部分はこれに該当しない。